

様式第9

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
愛知県	一宮市	令和元年4月1日～ 令和6年3月31日	令和元年4月1日～ 令和6年3月31日

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標	現状 (割合※1) (令和 年度)	目標 (割合※1) (令和 年度) A	実績 (割合※1) (令和 年度) B	実績/目 標※2	
排出量	事業系 総排出量	t	t (%)	t (%)	%
	1 事業所当たりの排出量	t	t (%)	t (%)	%
	生活系 総排出量	t	t (%)	t (%)	%
	1 人当たりの排出量	kg/人	kg/人 (%)	kg/人 (%)	%
	合 計 事業系生活系総排出量合計	t	t (%)	t (%)	%
再生利用量	直接資源化量	t (%)	t (%)	t (%)	%
	総資源化量	t (%)	t (%)	t (%)	%
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	t (%)	t (%)	t (%)	%

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量+集団回収量に対する割合を記載。

※2 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、(実績の割合-現状の割合) / (目標の割合-現状の割合) を記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成29年度)	目 標 (令和6年度) A	実 績 (令和6年度) B	実績/目 標※3	
総人口	385,777 人	368,755 人	377,661 人	—	
公共下水道	汚水衛生処理人口	188,186 人	185,783 人	200,500 人	-512.4%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	48.8 %	50.4 %	53.1%	268.8%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	0 人	0 人	0 人	- %
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	0 %	0 %	0 %	- %
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	79,100 人	91,240 人	78,984 人	-0.96%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	20.5 %	24.7 %	20.9%	9.52%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	118,491 人	91,732 人	98,177 人	75.9%

※3 (実績の割合-現状の割合) / (目標の割合-現状の割合) を記載

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの						
処理体制の構築、変更に関するもの						
処理施設の整備に関するもの						
施設整備に係る計画支援に関するもの	1	合併処理浄化槽の設置整備	一宮市	生活排水の処理方法は下水道が主であるが、公共下水道計画区域外については生活排水の個別処理施設として、合併処理浄化槽の設置整備を推進する。	令和元年度～令和5年度	令和元年度: 25 基 令和2年度: 29 基 令和3年度: 56 基 令和4年度: 58 基 令和5年度: 44 基 合併処理浄化槽を設置整備した。
その他						

3 目標の達成状況に関する評価

【生活排水処理】

○公共下水道

公共下水道の整備済み区域内の人口は、263,453人で、目標の185,783人に対して令和6年度実績は、200,500人となっており目標を達成できた。

○合併処理浄化槽等

合併処理浄化槽等人口は、目標の91,240人に対して78,984人で、人口普及率は目標の24.7%に対して20.9%で、目標を達成することができなかった。これは、独居高齢世帯の施設入所により空き家になり、解体が進んだことにより合併処理浄化槽の廃止によるものと推測する。また、新型コロナウイルス感染症による社会活動の自粛により新築家屋の建設や合併処理浄化槽への転換が停滞したことも影響していると推測する。

○未処理人口

未処理人口についても、着実に減少しているものの目標91,732人に対し、実績が98,177人と目標を達成できなかった。これは、新型コロナウイルス感染症による社会活動の自粛が影響したものと推測する。

(都道府県知事の所見)

公共下水道の処理人口は目標を大きく上回った一方で、合併処理浄化槽等の処理人口が目標を下回ったことや、総人口が想定ほど減少しなかったことにより、市全体での汚水衛生未処理人口は目標未達となった。単独処理浄化槽や汲み取り便槽から合併処理浄化槽への転換が十分進まなかったことが目標未達の要因と考えられる。

公共下水道については引き続き計画的に整備を進めていただくとともに、合併処理浄化槽については整備促進に向けた一層の取組を期待する。